

令和7年度 第5回 能登半島地震復興支援セミナー

平常時と災害時の生活環境と 社会インフラ施設

日 時：令和7年 11月14日 金 15:00～16:00 無料

講 師：仲村 成貴（なかむら まさたか）氏

・日本大学 理工学部 まちづくり工学科 教授

日本の社会インフラ施設の多くは、高度経済成長期に整備されたものであり、現在老朽化が進んでいる。そのため、施設の機能が低下し、事故の危険性が高まり、地震や台風などの自然災害時には被害が拡大するリスクも増している。社会インフラ施設の脆弱性は人命や暮らしに直接影響を及ぼすが、日常生活の中でそれを意識する機会は多くないと思われる。本講義では、社会インフラ施設について平常時と災害時の両面から改めて確認し、維持管理や災害対応を踏まえた今後のまちづくりについて考える。

参加形式：オンライン・オンデマンド(11/14～12/13)

対象者：どなたでも

申込：<https://ws.formzu.net/dist/S66745132/>

申込締切：令和7年11月11日(火)



【講師紹介】

1997年に日本大学大学院理工学研究科土木工学専攻を修了、日本大学理工学部土木工学科助手・専任講師を経て、2017年より日本大学理工学部まちづくり工学科教授。専門は地震工学、地震防災。ハード（構造物の振動モニタリングなど）とソフト（災害応急対応など）の両面から、防災まちづくり研究に取り組む。

